

# たるら

兵庫の漁業人のための情報誌

TAKUSUI  
No. 623

9

September, 2008

発行 (財)兵庫県水産振興基金

## 豊かな海を願って...

第28回全国豊かな海づくり大会 にいがた大会



全国豊かな海づくり大会 (9月7日 新潟) 写真提供: JF全漁連

ニュース◇

### (株)ひょうごぎょれん販売設立へ

### G号油流出事故に対する基金協会保証の実施について 燃油高騰対策の取り組み

# 平成20年度 三団体合同臨時総会を開催

去る平成20年8月22日(金)、兵庫県立水産会館大会議室において、平成20年度三団体合同臨時総会が開催されました。各団体の議決事項は下記のとおりです。

兵庫県漁業協同組合連合会  
兵庫県信用漁業協同組合連合会  
兵庫県漁業共済組合

## 兵庫県漁業協同組合連合会

- 第1号議案 退任役員の役員退任手当の支給について
- 第2号議案 役員の補欠選任について
- 第3号議案 「(株)ひょうごぎょれん販売」(仮称)の設立発起人引受及び株式取得について

## 兵庫県信用漁業協同組合連合

- 第1号議案 退任役員の役員退任手当の支給について
- 第2号議案 役員の補欠選任について

## 兵庫県漁業共済組合

- 第1号議案 退任役員に対する退任手当の支給について
- 第2号議案 役員の補欠選任について

### 役員の補欠選任の結果は以下のとおり

3団体共通理事 浜坂町漁業協同組合

代表理事組合長 川越一男

兵庫県漁業協同組合連合会

監事 笹倉邦夫

## (株)ひょうごぎょれん販売設立へ 「県漁連初の子会社誕生」

8月22日に開催されたJF兵庫漁連の臨時総会で(株)ひょうごぎょれん販売の設立が承認され10月1日に本県系統初の子会社が誕生することとなりました。

新しい会社はJF兵庫漁連の100%出資により設立され、当面は「兵庫のり」のブランド化と消費拡大をめざし事業を展開しますが、「兵庫のり」の特長を生かしたPRや販売を行うため、本体が開催するのり共販における買参権取得を目指して関係者との調整を行い、予定通り進めば今漁期当初から買い付けを開始します。

瀬戸内海の主幹漁業であるのり養殖業は、毎年のように発生する色落ち被害と生産過剰気味な流通環境により、年々のりの単価が下降しています。一方では「有明産のり」のブランド化が急速に進み相対的に「兵庫のり」の評価は限定的になってきており、生産者からもPRの必要性が叫ばれていました。

買参権の取得が実現すると、各海域で生産されるのりの特徴を生かした販売を行うことを念頭に買付を行い、「地産地消」「食育」の観点から県内の学校給食やJAとの協同組合間提携を通じ、あるいは地元企業等にも協力を得て「兵庫のり」の良さをPRしながら地元消費の底上げを目指します。

将来的には流通加工事業とも連携し、兵庫県産水産物加工品のブランド化や販路拡大にも取り組む構想を持っていますが、当面は本県産のりの販売に全力投球します。

### 《会社概要》

(1) 名称	: 株式会社ひょうごぎょれん販売 (仮称)
(2) 資本金	: 500万円 (設立時)
(3) 設立時期	: 平成20年10月1日
(4) 事業の内容	: ①水産物、農畜産物および加工食品の売買 ②水産物および農畜産物の加工業 ③上記①、②の代理業、仲介業および問屋業 ④前各号に付帯関連する一切の事業
(5) 所在地	: 兵庫県加古郡播磨町古宮字堀坪1-4
(6) 役員構成	: 取締役1名以上 (設立時代表取締役 山口徹夫、 設立時取締役 上田隆敏)
(7) 従業員	: 取締役が兼務
(8) 営業開始時期	: 平成20年10月1日

# G号油流出事故に対する基金協会保証の実施について

このたびのG号油流出事故に対する金融対策として※「豊かな海づくり資金(災害資金(特定))」の貸し付けに対し基金協会保証を行いました。保証件数及び金額は、5月から7月までの3ヶ月間では331件1,570,400千円に上りました。

この資金が漁業者の早期回復のお役に立てることを願い、基金協会としては今後もできる限りの協力を続けてまいりたいと思っております。

<地区別内訳>

H20.7.31現在

地区	件数	保証額
摂津	35件	172,000千円
播磨	294件	1,388,400千円
淡路	2件	10,000千円
合計	331件	1,570,400千円

## ■「豊かな海づくり資金」(災害資金(特定))の内容について

### 《災害資金のポイント》

- その1** 災害の都度、被害規模等から県が災害資金の適用について判断します。
- その2** 一定の利子補給を行う市町に適用されます。(このたびは、神戸市、明石市、淡路市)
- その3** 被災漁家の被害程度について、市町長の災害認定が必要です。

### 災害資金(特定)の主な内容と金利等

貸付対象者	災害による損失額が、 <b>平均漁業総収入の概ね30%以上</b> である旨の市町長の被害認定を受けた者	
貸付限度額	個人：500万円 法人：1,000万円	
貸付利率	無利子	県、市町、系統団体の負担により無利子化する
償還(据置)期間	7年以内(2年以内) [通常：5年(1年)]	
貸付対象経費	①災害漁家の再生産に必要な資金 ②災害前6か月以内に購入した生産資材代金の支払いに必要な資金	

(備考)

- ①市町が行う一定の利子補給とは  
利子補給契約に基づく利子補給のほか、利息分還付方式による利子助成など、必要な利子補給負担を県と共同で行うことが確定していること。
- ②被害認定書の内容  
貸付対象者の欄に掲げる「災害による損失額が、平均漁業総収入の概ね30%以上である旨」の内容が認定されていること。様式は定めていない。
- ③漁業収入とは  
漁業収入の総額(漁業粗収益)であり、漁業所得ではない。

# 燃油高騰対策の取り組み

## 「省燃油実証事業」第1次申請は約30億円規模

燃油高騰に苦しむ漁業者への緊急対策として、国は総額745億円の燃油高騰水産業緊急対策を打ち出しましたが、その概要は本誌8月号でお知らせしたとおりです。

その後、本県では8月4日に「兵庫県省燃油実証事業検討協議会」(会長小松司・JF兵庫漁連会長)が発足し、協議会メンバーを中心として対策事業の普及指導活動を展開しています。具体的な事務はJF兵庫漁連内に置かれた「省燃油実証事業対策室」(通称「PT室」)が担当していますが、8月21日には淡路地区、播磨地区で各JFの事務担当者を対象に説明会が開催されるなど、中央への申請手続きが各地区で進められています。

第1次申請分として書類がすべて整った12漁協(23グループ)の省燃油実証事業実施計画書(対象事業費：総額約30億円)は、9月8日に開かれた検討協議会で審議され、全漁連へ提出する運びになりました。

続く第2次申請の締切(県段階)は9月19日、全漁連への申請締切は9月30日となっていますので、事業参加を計画されているグループはPT室と連絡をとりあって、書類の準備を進めてください。(PT室：TEL 078-652-3447)

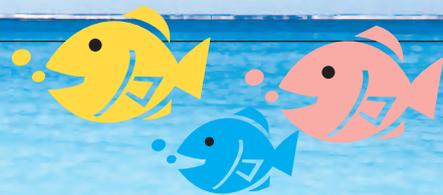


8月21日 播磨地区説明会



8月21日 淡路地区説明会

# 魚食普及活動のページ



水産物の消費拡大を図るため、料理講習会などが活発に開催されています。とくにこの季節は「海」「魚」「漁業」をテーマに体験学習や交流行事も多く、そのようなイベントとミックスした楽しい企画も目白押し。各地区では、浜の母ちゃんや兄ちゃんたちが自慢の腕を発揮して、水産物のPRと「漁業の応援団づくり」に大活躍しています。

## 【女性部員もパワーアップ！】 JF兵庫漁連 魚食推進室

8月29日、播磨地区の漁協女性部連合会のブロック講習会に、JF兵庫漁連の魚食推進室が講師に招かれ料理講習会が開催されました。

各浜で実施される料理教室のパワーアップを図るため、初めて魚をさわる人や小学生にもよく分かる、魚のさばき方やタコの塩もみの仕方を実習しました。

魚の取扱いはプロである漁協女性部の皆さんですが、「なるほど!」「あ、そうか!」などと感嘆の声が上がっていました。女性部や魚食推進室の魚食普及活動によって、もっともっと県民にひょうごのさかなを食べてもらいたいものです。



## 【淡路で漁師になろう！】 農林水産体験ファーム

平成20年度農林水産体験ファーム「漁師さんになろう!」が8月22日(金)~24日(日)の2泊3日の日程で、淡路島の五色海岸を舞台に繰り広げられました。県子ども会連合会の募集により、神戸・姫路の小中学生約60人が地曳き網やカゴ漁業などを体験。ピチピチ跳ねる魚や網に入った大物をつかんで大歓声の連続です。班ごとに晩ごはんのメニューをきめてのぶっつけ本番の

調理体験のほか、ロープワークに挑戦したり、「漁業検定」も行ったりと盛り沢山のスケジュールに、お世話をするJF五色町の煽(あおり)グループの皆さんや、洲本農林水産振興事務所の指導員の皆さんはてんてこ舞いでした。このように、子どもたちに漁業の楽しさを体験してもらい、漁業の応援団が1人でも多く育って欲しいですね。



カゴの引き揚げ 「あっ、タコだ!」



地曳き網の大物に大歓声!

## 【兵庫県漁業士会の料理教室】 兵庫県漁業士会

兵庫県下の指導漁業士、女性漁業士、青年漁業士を会員とする兵庫県漁業士会が、財団法人水産振興基金の助成を受けて、お魚料理教室を開催しました。

漁業士会が開催する料理教室は、今回で3回目です。8月26日(火)10時半から明石市生涯学習センター(明石市)の調理実習室において、女性7名を生徒に迎えて実施しました。講師は伊保漁協所属で「浜のかあちゃん」として加工場を運営している高須瞳さん、四十物佳代美さん、高谷洋子さんの3名に務めて頂きました。また、女性漁業士から井上二三枝さん(神戸市)、守山公子さん(美方郡香美町)が応援で加勢頂きました。

この日の料理内容は、マダコの柔らかい茹で方に始まり、その茹でたマダコを使った刺身調理、テナガダコの酢の物、アナゴの天丼、それにアナゴのしっぽなどの残り物を利用したワカメのお吸い物を、急遽メニューに加

えたものとなりました。

段取りを考えながら時間のかかるマダコを茹でるところから始めました。柔らかいマダコの茹で方は、茹でたお湯にぬめりを



出来上がった料理

取ったマダコを入れたあとは、火を切って湯が冷めるまでおいておくこと。待っている間にテナガダコの酢の物を作り、天丼用のアナゴやシシトウの下ごしらえをし、残り物のアナゴのしっぽを利用してだしを取ったものにほんだしとワカメを加えてお吸い物をつくり、茹でたマダコを刺身にして、最後にアナゴ、シシトウ、余ったマダコを天ぷらにして料理が完成しました。

料理に慣れた方が多く、とてもスムーズに進み、12時過ぎには柔らかいマダコの刺身、酢の物、それにできたての暖かい料理をおいしく試食することができました。食べたあとは後かたづけですが、調理が終わったときにはほとんどの洗い物が終わっていましたので、食後は試食時の食器と天ぷらなどの鍋を洗って、13:30までに終了しました。



料理講習の様子

## 【マリンスクール】 J F 神戸市・J F 明石浦・J F 兵庫漁連

協同組合間提携事業として、コープこうべ・J F 神戸市・J F 明石浦・J F 兵庫漁連が毎年実施しているマリンスクールがJ F 神戸市(7月31日・8月1日)とJ F 明石浦(8月7~9日)において開催されました。

今回でJ F 神戸市コースは26回目、J F 明石浦コースは25回目です。

J F 神戸市では、11時30分開始の半日コースとなっており、セリ市の見学から始まり、お魚を知りまSHOWというクイズ、そして神戸市立栽培漁業センターで育てられたヒラメの稚魚を放流し、魚は獲って食べるだけでなく、増やすための努力をしなければならない大切さも学びました。最後にタコと泳ぎ回る魚のつかみ取りを行い、自分で獲ったばかりのタコを各自で塩もみしました。

一方、J F 明石浦コースでは、料理教室第1部としてタコの塩もみ体験から始まり、明石の漁業のお話とクイズの後、昼市を見学し、自分で塩もみしたタコを中心に手巻寿司や唐揚げを昼に食べ、午後からは料理教室第2部として魚の三枚おろしにも挑戦しました。最後

のタコのつかみ取りでは、午前に初めて生きたタコを目にした子供達は、恐る恐る塩もみをしていましたが、これで慣れてしまうとタコの泳いでいるプールの中では、目を輝かせながらつかんでいました。

海のそばで潮の匂いを感じながら、自分で獲ったタコや魚は、持ち帰って家で食べると格別な味がしたのではないのでしょうか。

五感を使っての体験は、魚や海、そして自然をたっぷりと感じたことと思います。



恐る恐るタコの塩もみ



いけすでタコと格闘

## 【坊勢で海鮮バーベキュー】 JF 坊勢女性部

8月9日、坊勢とりがうち海水浴場で、JF坊勢女性部が募集した一般観光客約70名を対象に、体験漁業と、獲れた魚を料理する催しが開かれました。



初めての地曳網に歓声が！！

豪快に  
海鮮  
バーベキュー



体験漁業では、地曳き網漁や、普段はなかなか体験できないカゴ漁に参加した小学生は目を白黒。

料理では、漁協女性部やスタッフの指導で、獲れたての魚で海鮮バーベキューや鯛ソーメンなどを作り、舌鼓を打っていました。

このような魚食普及活動により、本県の水産物の消費がもっと増えてほしいものです。

## 【但馬地区でも魚食普及活動などが】 但馬地区

但馬地区でも漁青連・女性連による魚食普及活動・水産体験教室などが行われました。これらの活動は毎年開催されており、今年も子供たちは貴重な体験に歓声を上げ、成功のうちに終わりました。



津居山水産少年教室



竹野南小学校イカメシ給食



浜坂漁業体験教室



## 包丁の持ち方、立ち位置



包丁を使う時、長時間でも疲れない姿勢や持ち方が基本です。

### 姿勢は：

- ・両足を肩幅くらいに開き、体がまな板に平行になるように立つ
- ・体とまな板の間隔は、こぶしひとつ入るくらい
- ・右足を軽く半歩後ろに引く（まな板と足の角度45°C）
- ・まな板の高さは、かがみこまない高さ
- ・背筋を自然に伸ばして、上体を少し倒して、包丁がまな板につくくらいに調整。

### 持ち方は：

#### ◇出刃包丁

- ・手を軽く広げ、人差し指に包丁の峰を載せるように置く
- ・そのまま柄を握り、親指と人差し指で包丁をはさむ
- ・人差し指は、包丁の刃元部分に当てる

#### ◇刺身包丁

- ・出刃包丁の持ち方から人差し指を峰の上に置く

切るものに包丁をあてる角度や、部分により握る場所をかえること。包丁、切り方にあった持ち方で切ることで、作業が早くなり疲れません。

自分の手になじむ寸法、重さの包丁を選ぶことが大事です。



JF 兵庫漁連 魚食推進室



但馬に

# 改革型漁船登場!!

栄福丸 19トン 890kw

水産庁は平成19年度より、生産体制が脆弱化した漁船漁業について、緊急に構造改革を進めるため、収益性重視の経営への転換を促進する「漁船漁業構造改革総合対策事業」を実施。

省エネ、省人化等の改革型漁船を漁協が用船し、収益改革計画に基づく新たな操業、販売体制を実証することにより用船料を助成するという内容で、このたびJF但馬では「べにずわいかにかご漁船」で計画の認定を受けました。この計画に基づき建造された「栄福丸」には、初めて活魚水槽と冷却装置が設置されるなど新しい技術や工夫がふんだんに取り入れられており、べにずわいがにを本格的に活がにで出荷できるようになるなど、付加価値の向上を目指しています。

なお、「栄福丸」の船主は大輪田塾2期生の 稲葉貴之 氏で、8月17日に竣工祝賀会が行われました。

## 平成20年度 兵庫県農林水産技術総合センター

# 水産技術センター見学会ならびに研究発表会開催

8月19日(火) 兵庫県水産技術センターにおいて、平成20年度兵庫県農林水産技術総合センター水産技術センター見学会、ならびに研究発表会が開催されました。(拓水7月号 No621参照)

午前中に行われた見学会では、顕微鏡でプランクトンを観察するミクロの世界体験や、魚とのふれ合い、ミニ魚拓や貝殻を使った工作などのものづくりが行われました。来場した子供達は、海の生き物について研究員の方々に質問をしたり、屋外水槽に放された生きたタコなどを捕まえたりして、楽しい時間を過ごしました。

また、午後からは研究発表会が開催され、日頃の試験研究の成果や活動実績の発表、最近の話題等についての紹介がありました。特に今回は時宜的

話題の、食品への異物混入の事例と原因について報告があり、またノリ養殖における色落ちの原因である大型珪藻発生を軽減させる海底耕耘の実施事例報告などの発表もあり、163名の漁業者や系統団体等関係者が出席され、質疑応答も活発に行われました。



2008年漁業センサスを 本年11月、全国一斉に実施します。



調べます！

## 日本の水産業

この調査は、5年ごとにわが国の水産業の実態を明らかにする“水産業の国勢調査”ともいうべき大切な調査です。

農林水産省が都道府県・市区町村を通じて実施する調査で、漁業者や水産関係者の方々のところへ、統計調査員が調査票への記入のお願いに伺います。

調査へのご協力をお願いします。

問い合わせ先

兵庫県企画県民部政策室統計課  
TEL 078-362-4130

### 地域に根ざした食育コンクール2008

## 元気のよい“食育活動”を募集します！

#### <コンクールの趣旨>

「食育」とは、食料の生産から消費にいたるまでの「さまざまな体験を通じて『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」こと（食育基本法・前文）。

いま「食育」は、健全な食生活・食習慣の確立、教育ファーム等の農林漁業体験活動の促進、食文化の継承など、地域に根ざした取組みが課題になっています。

本コンクールは、このような国民的課題をふまえて、民間の団体等が自発的に行う活動が全国で展開され、関係者の情報共有が促進されることを目的として実施するものです。

さまざまな活動主体による、元気な食育活動をひろく全国から募集して、特にすぐれた実践事例を表彰いたします。

#### 応募方法

下記ホームページより直接ご応募いただくか、ホームページより応募用紙（PDF）をプリントアウトし、必要事項を記入の上、切り取り、添付書類・写真と同封して事務局宛てに送付してください。

#### 応募締切

平成20年11月7日（金）・・・**当日必着**

#### 審査結果発表

平成20年12月に受賞内容を公表し、下記ホームページに掲載します。

#### 表彰式・発表会

平成20年2月8日（日） 東京国際フォーラム

#### 問い合わせ・応募書類送付先

（社）農山漁村文化協会 地域に根ざした食育推進協議会 食育コンクール係  
〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1 TEL：03-3585-1144 FAX：03-3585-6466

募集要項・応募用紙・お申し込みはコチラから… <http://nipponisyokuiku.net/>

提 唱：農林水産省

主 催：地域に根ざした食育推進協議会・（社）農山漁村文化協会

<当事業は、「農林水産省 平成20年度にっぽん食育推進事業」の一環として実施するものです>

# 「人と海との共生を考える」 シンポジウムの開催

「平成 20 年度環境・生態系保全活動支援・実証事業」の普及啓発活動の一環として、「人と海との共生を考える～漁業者による環境・生態系保全活動～」シンポジウムが、JF 全漁連主催で開催されます。

シンポジウムの開催は、広島県を皮切りに、福岡県、岩手県、大阪府、東京都の5カ所で実施されますが、大阪でのプログラム予定は、以下のとおりです。

日 時：平成 20 年 10 月 18 日 (土)

場 所：TKP 大阪淀屋橋ビジネスセンターホール B

基調講演：京都精華大学 鷺尾圭司 氏

問い合わせ：JF 全漁連 漁政・国際部 里海通信発行係

## 麒麟ビールのキャンペーンに 「明石だこの花しゃぶ」エントリー

JF 兵庫漁連 流通加工事業本部

各県の『うまい』を競う麒麟ビール(株)の「選ぼうニッポンのうまい! 2008」キャンペーンに、兵庫県代表として、本会の「明石だこの花しゃぶ」が採用されました。

このキャンペーンは、食とビールの組み合わせなど、ビールのおいしさや楽しさを提案している同社が、47都道府県の名物食材や話題の一品を賞品に採用して全国で展開する大規模キャンペーンです。



写真提供：麒麟ビール(株)

キャンペーン期間

9月1日(月)～10月20日(月)

応募方法など詳しくは、下記ホームページにアクセス!

<http://www.kirin.co.jp/brands/nippon-umai/prize/index.html>

ビール好きの方もそうでない方も、  
この秋はKIRINとひょうご漁連に  
注目願います。

### 行事予定

#### ●JF兵庫漁連

9月24日(水) のり海藻事業審議会 15:00～  
25日(木) 理事会 13:00～

#### ●JF信漁連

9月26日(金) 理事会 13:00～

#### ●兵庫県水産振興基金

9月24日(水) 大輪田塾第1回運営委員会 13:00～  
10月7日(火) 大輪田塾修了式ならびに入塾式 13:30～

## 認知症サポーター養成講座 開催



講座では認知症を理解するため、その症状や働く場面での対応、家族の対応など順を追って学びました。

現在、「地域の安全・安心見守り活動」として市民救命士講習の受講やAEDの全事業所設置、こども110番等の活動に取り組むJA兵庫六甲。今後は増加していく高齢者へのさらなる対応として、認知症の人への対応や認知症の人を持つ家族の方々の気持ちの理解等を学ぶ認知症サポーター養成講座を、全職員が受講することを決めました。

7月16日には第1回目となる講座をJA兵庫六甲西神文化センターで実施、「認知症サポーターは特別なことではなく、正しい知識を持つことで認知症の人や家族を応援し、みんなが暮らしやすい地域を作っていくボランティアだということを知ってもらいたい」と、講師を務めたジェイエイ兵庫六甲福祉会（オアシス千歳）の石川立美子氏。

今後は職員だけでなく、組合員にもこの講座の受講を薦めることで、一人でも多くの人に認知症サポーターになってもらい、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりの活動に取り組んでいくこととします。



<http://www.zenchu-ja.org/>

コープデイズ神戸北町で  
セルフレジを実験導入しました

コープ委員約20名がセルフレジでお買い物のデモンストレーションを行いました。

セルフレジでお買い物を精算する様子。

コープこうべでは、7月9日（水）、組合員のお買い物満足の向上をめざして、誰でも楽しくお買い物をしていただくことを目的に、コープデイズ神戸北町で「セルフレジ」の実験導入をスタートさせました。

「セルフレジ」とは、組合員自身が、画面表示と音声に従い、精算を行うシステムです。商品についているバーコードのスキヤンが基本になりますが、バーコードのついていない野菜などは画面から商品名と個数を選択します。

「慣れたら楽しそう。」「後ろがつかえていたらあせるかも。」「画面が大きくてみやすい。」といった組合員の声も聞かれました。

4台のセルフレジに対して担当者を一名配置し、レジ精算の手助けやトラブルに対応します。

またコープこうべはマイバッグ運動の取り組みの一環として、レジ袋が必要な方はレジ袋代金の5円をレジで精算しています。そのためセルフレジもレジ袋代金精算機能を搭載したオリジナル仕様となっています。

2009年度末までに20店舗80台の導入を予定しています。

<http://www.co-op.or.jp/jccu/>

# 大輪田塾だより

## 平成20年度大輪田塾修了論文発表会開催

8月26日(火)、兵庫県水産会館にて平成20年度大輪田塾修了論文発表会が開催され、小松司 塾長をはじめ、境港漁業調整事務所 上田勝彦資源管理計画官、運営委員や県・系統役職員出席のもと、大輪田塾2期生の4名がそれぞれ任意の研究項目について修了論文を作成し、発表しました。

論文発表者は緊張の中、それぞれのテーマについての研究成果を述べ、質疑応答ではそれぞれ活発な意見交換がなされました。

また、全員の発表後、運営委員の秋武 JF兵庫信漁連会長から「これからの漁協・漁村に求められる課題をそれぞれ心に持たれた皆さんの発表に感動した。これからも広い視点で漁業全体を捉え、自分の頭で情勢を分析し行動するよう活躍を期待する。」と講評をいただきました。



### 坊勢島からみたこれからの水産物流通について

JF 坊勢：岡田 俊也 指導員：南山 卓範

### これからの漁業

JF 南淡：橋本 昌和 指導員：岡辺 真一

### 漁業における後継者について ~希望の持てる漁師とは~

JF 由良町中央：平野 清次 指導員：大石 賢哉

### ベニズワイガニの資源回復の取組

JF 但馬：稲葉 貴之 指導員：長島 浩

(敬称略)



## 旬に想う

写真と文  
遊方子

## 地名散歩

◆我が国は四囲が海だから、どの道を通っても行きつく先は陸の果てとなり、その突端な《岬》である。《みさき》の意で使う漢字は「埼・碕・崎・御崎」とあり、古くは使い分けしていたようだ。奈良時代の『風土記』には、御崎や埼の字が使われ、明治に作られた『海軍水路誌』は、岬の先端を《埼》、集落や岬名は《崎》と記し、灯台を《碕》と区別した使い方をしている。実際には長い間に変化し、最近では《岬》が多く使われている。灯台は、遣唐使船のため太宰府付近の峰で、篝火を燃やして航路目標としたことに始まるという。

◆鳥根県の日御碕へ行った」のは6月中旬。鳥根半島西端につき出た岬の国民宿舎を足掛かりに周辺を観光した。絶壁に立つ日御碕灯台は、東洋一の高さを誇り、夜間の海上40キロを照らすという。夜、遠くに漁火が見え、灯台へ続く松林ではヒメホタルが飛び交い幻想的な眺めを醸していた。海岸一帯の岩は柱状節理が見事で、変化に富む景勝の地であり、中でも圧巻経島(ふみしま)のウミネコの群れだった。経島は、日御碕神社の神域で日沈宮(ひしずみのみや)が鎮座し、ウミネコはそれを取り巻いて大きなコロニーを作っている。巣立った幼鳥を交え、数千羽が群がり鳴き交わすサマは凄まじく、驚きの眼で眺めて来たのである。

◆「拓水」編集を担当していた頃、海上保安本部の方からから《江崎灯台》の写真の投稿を受けた。これを生かしたいため《ぶらり探訪》というコーナーを新設、挿話風に利用させて頂いた。初めて取材に出掛け、江崎灯台のことを調べた。明治四年に淡路島北端に設置され、我が国八番目の灯台と紹介したが、設置された当初、石油を使って灯心を燃やし、反射鏡で光度を強くしていたそうだ。それがガスに変わり、電気になり、今は無人で自動操作という技術的進歩を遂げたが、海の銀座と呼ばれる煩瑣な海峡に、明かりを灯して百年になるという。現地を訪ねて記事を書いた当時は思い出される。

◆『喜びも悲しみも幾年月』という映画が作られたのは昭和三十二年。雑誌に載った灯台守りの妻君の手記をヒントに、物語を編み上げたもので、興業的に大ヒットした木下恵介監督の作品である。北は石狩から南は五島列島の女島まで、転々と苦労を重ねる夫婦の年代記になっており、赴任先の灯台は十六箇所に及ぶ。その灯台の紹介には大きな地図を辿る方法がとられ、主人公の移動に併せてカメラが動き、バックに力強い主題歌が流れる。♪『俺ら岬の灯台守は、妻と二人で沖いく船の、無事を祈って火をかざす・・・』と。厳しい自然界の移いの中で、人間の弱さ脆さ、そして美しさを感動的に謳い挙げていた。



若さと情熱を原動力に進化を続ける!

# 兵庫県漁業を代表する組合が目指す未来



水産物流通センター

漁具資材倉庫店舗

製氷冷蔵施設

漁村活性化センター



これまで兵庫県下の漁協をご紹介してきたこのコーナーも、今回ついに最後の組合のご紹介となりました。最後を締めくくるとは、兵庫県の漁業を牽引するパワーあふれる組合、坊勢漁業協同組合です。



播磨灘に浮かぶ家島諸島の一つ、坊勢島は、1時間半もあれば、徒歩で島をぐるりと一周できるほど小さな島ですが、島民約3

千人のうち7割ほどの世帯が漁業に従事し、551名の組合員数は、県下でも一、二です。そのうえ、平均年齢48歳という若い漁師が多く、他漁協で叫ばれている後継者不足とも無縁。島のシンボル「恵美酒神社」で行われる威勢のよい祭りなどからも、漁師の活気が伝わってきます。

海に囲まれた離島の利点を活かし、多種にわたる豊かな魚介類と、あらゆる漁法を駆使した漁が持ち味のJF坊勢の水揚げ高は、県下最大級を誇ります。島にある3つの港には、それぞれ立派な漁業施設が築かれ、まさに“漁業の島”という形容がぴったり。その勢いは漁だけにとどまらず、妻鹿に直売所を設けるなど、様々な形で広がりをみせています。

このように、漁業が島の大きな力となっているJF坊勢だけに、稚魚を育て、豊かな海を実現する取り組みにも大変意欲的です。その意欲の表れが、数ある漁業施設のなかでもJF坊勢の自慢である中間育成施設です。県下でも最大級のこの施設では、サワラ、ヒラメ、車エビ、

マコガレイ、オコゼ、アワビ、サザエなど、多くの稚魚を育成しており、最近では、イカ、ナマコの産卵場所を新たに設けました。大きな組合のJF坊勢だからこそ、獲る漁業から育てる漁業への取り組みが、他の組合に与える影響、また、海の環境に及ぼす効果が大きいことは、言うまでもありません。

また、2005年からスタートしたのが岩ガキ養殖です。岩ガキは外海を中心に生息し、養殖も盛んですが、瀬戸内海のような内海では、栄養となる植物性プランクトンが少ないことから育ちにくいとされていました。しかし、川の少ない内海の環境で、岩ガキの養殖に成功している岩手県をお手本に延縄式養殖を取り入れたことで、見事養殖に成功! 結果、坊勢では春から夏にかけて身が大きく、濃厚で旨みがあり、天然のものにひけをとらない岩ガキが収穫できるようになりました。JF坊勢の飽くなき探究心が、岩ガキという新たな名産を誕生させたといえるかもしれません。



岩ガキ養殖を始めたのと同時期に立ち上げた「廃船基金」もまた、全国的に実例のないJF坊勢ならではのシステムです。このシステムは、廃船として放置されている船の処理費用の一部を組合で負担する制度で、従来、高額なうえに全て自己負担という理由から、不法投棄が後を絶たなかった廃船の処理に対処すべく、大々的に取り組まれています。環境に優しく、漁師にとっても安心できる漁業の実現を理想とする、JF坊勢らしい着眼点であり、組合員からも大変好評です。

このように、JF坊勢では従来のスタイルにとらわれない、新しい試みを常に実践しています。今後もこのスタイルを貫き、放流事業、つけ磯といった豊かな海を実現する取り組みにもチャレンジする予定です。兵庫県の漁業の活性化につなげるため、JF坊勢が今後どのような方法で組合を盛り上げていくのか? あふれるチャレンジ精神を持ったJF坊勢の活動から、今後も目が離せません。



千人のうち7割ほどの世帯が漁業に従事し、551名の組合員数は、県下でも一、二です。そのうえ、平均年齢48歳という若い漁師が多く、他漁協で叫ばれている後継者不足とも無縁。島のシンボル「恵美酒神社」で行われる威勢のよい祭りなどからも、漁師の活気が伝わってきます。



海に囲まれた離島の利点を活かし、多種にわたる豊かな魚介類と、あらゆる漁法を駆使した漁が持ち味のJF坊勢の水揚げ高は、県下最大級を誇ります。島にある3つの港には、それぞれ立派な漁業施設が築かれ、まさに“漁業の島”という形容がぴったり。その勢いは漁だけにとどまらず、妻鹿に直売所を設けるなど、様々な形で広がりをみせています。



妻鹿にある「とれとれ直売所」

このように、漁業が島の大きな力となっているJF坊勢だけに、稚魚を育て、豊かな海を実現する取り組みにも大変意欲的です。その意欲の表れが、数ある漁業施設のなかでもJF坊勢の自慢である中間育成施設です。県下でも最大級のこの施設では、サワラ、ヒラメ、車エビ、

## < 漁協メモ >

坊勢漁業協同組合  
代表理事組合長 上村 広一  
組合設立日 昭和24年10月1日  
組合員数 正組合員546名 准組合員5名  
／計551名



TAKUSUI  
9 September

発行 財団法人 兵庫県水産振興基金

〒652-0844 神戸市兵庫区中之島2-2-1 TEL 078-681-3789 FAX 078-651-4687